

2018年JAF岡山国際サーキットトライアル選手権第2戦/
 2018 OKAYAMAチャレンジカップサーキットトライアル [JAF公認No.2018-4019]
 2018年マツダファン・サーキットトライアル第2戦 中国・夏ラウンド [JAF公認No.2018-4018]

開催日：6月23～24日 開催場所：岡山国際サーキット 格式：準国内
 主催：株式会社岡山国際サーキット [団体登録No.公認33001]、AC [クラブ登録No.公認33001]

フォト/吉見幸夫 レポート/はた☆なおゆき

総合トップの山根一人選手がBD3クラスで連勝!



出走16台で行われたJAF地方選手権岡山国際サーキットトライアル選手権の第2戦。堂々の総合1位は1分45秒072のタイムを出した山根一人選手。

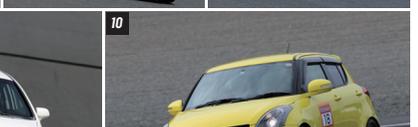
OKAYAMAチャレンジカップレース第3戦が行われた岡山国際サーキットでは、併せてふたつのサーキットトライアルを開催した。

23日に行われたのはマツダファン・サーキットトライアル。文字通りマツダ車すべてが対象となる。雨に見舞われた1組の第1ヒートでは、RX-8 TUNEDクラスの能勢健一朗選手が同クラスの本山賢一郎選手とオープンロータリーNORMALクラスの伊藤憲史選手を僅差で抑え、総合トップに。第2ヒートは雨の勢いが増したため、誰にもタイム更新を許さず、能

勢選手の総合優勝となった。「コンディションが全然違って、第1ヒートはちょっと濡れていただけでしたが、第2ヒートは本降り

15分という限られた時間内の周回で、ベストタイムを争うサーキットトライアル。スピードB車両規定に従った車検対応の範囲であればほぼ改造自由のB/Dクラス、スピードPN車両規定に従った2006年以降の車両かつ改造範囲が制限されるPNクラス等がある。ここ岡山以外にも、菅生や筑波で開催されている今注目の競技だ。

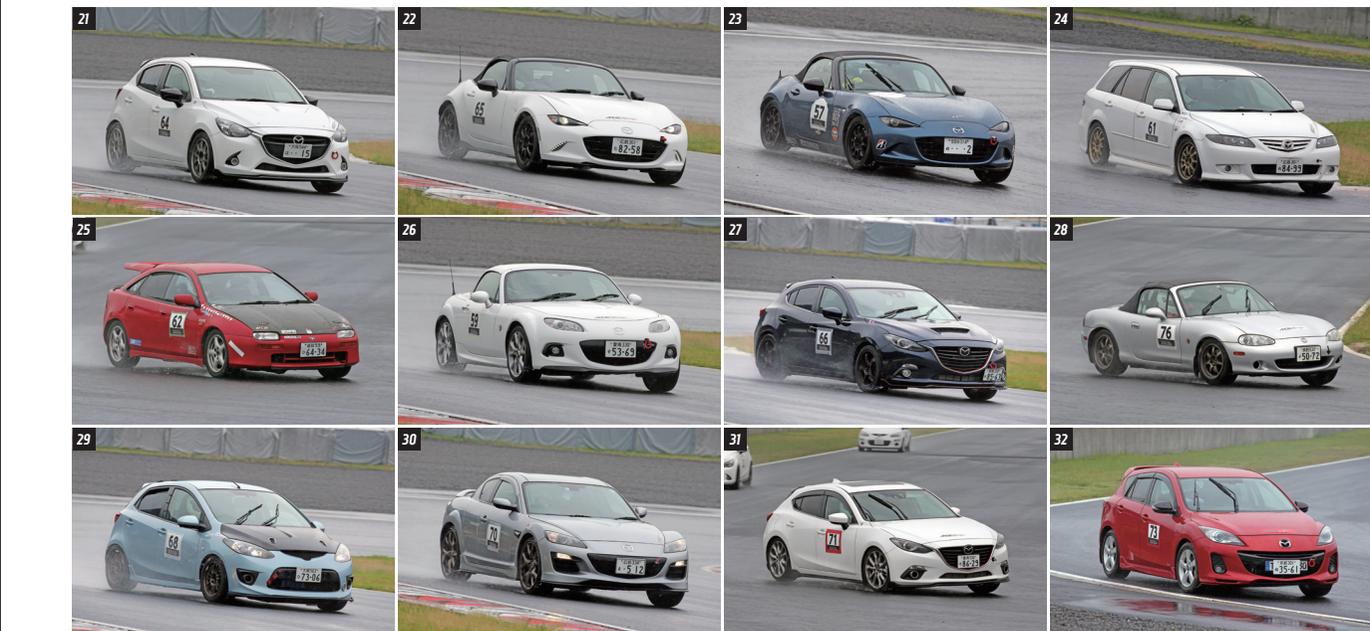
でした。久々の岡山なので、逃げ切れて良かったです」と能勢選手。総合3位の伊藤選手は



1.BD2クラス1位の木村芳次選手。2.岡村智明選手はPN3クラスの1位。3.BD3クラス2位の田原寛之選手。4.中嶋努選手はBD3クラスの3位。5.BD2クラス2位の篠田祐一選手。6.三谷崇選手はBD2クラスの3位。7.PN3クラス2位の久保田徹選手。8.金森有紀選手はPN3クラスの3位。9.PN2クラス1位の三浦俊哉選手。10.出原裕二選手はPN1クラスの1位。



11. マツダスピードアクセラ TUNEDクラスで1位の寺川健太選手。
 12. 伊藤憲央選手はオープン・ロータリー NORMALクラスの1位。
 13. ロードスター・クラシック TUNEDクラスで1位の友利泰之選手。
 14. 廣門諭選手はロードスター・クラシック2000 TUNEDクラスの1位。
 15. RX-8 TUNEDクラスで1位の能勢健一朗選手。
 16. 本山賢一郎選手はRX-8 TUNEDクラス2位。
 17. RX-8 TUNEDクラス3位は小島美智子選手。
 18. 小川斎太郎選手はオープン・ロータリー TUNEDクラスの1位。
 19. オープン・ロータリー TUNEDクラス2位は岡俊道選手。
 20. 松本哲也選手はオープン・ロータリー TUNEDクラス3位。



21. 吉見伸吾選手はデミオG TUNEDクラスの1位。
 22. ロードスター TUNEDクラスで1位の梅下降一選手。
 23. 市川彰選手はロードスター NORMALクラスの1位。
 24. アテンザ・クラシック NORMALクラスで1位の亀井彬史選手。
 25. 下田恭裕選手はオープン・レンプロ TUNEDクラスの1位。
 26. ロードスター・クラシック2000 NORMALクラスで1位の葛川吉保選手。
 27. 森田貴之選手はアクセラD NORMALクラスの1位。
 28. ロードスター・クラシック NORMALクラスで1位の島方菜摘選手。
 29. 堀川知広選手はデミオ&ベリーサ・クラシック TUNEDクラスの1位。
 30. RX-8 NORMALクラスで1位の大若浩規選手。
 31. 今泉孝明選手はアクセラD TUNEDクラスの1位。
 32. アクセラ・クラシック NORMALクラスで1位の岡田泰行選手。
 33. 田上俊之選手はデミオD TUNEDクラスの1位。
 34. ロードスター NORMALクラス2位の島田幸士選手。
 35. 有川桂太選手はロードスター TUNEDクラス2位。
 36. デミオD NORMALクラスで1位の米田頌貴選手。



オープンロータリー NORMALクラスで、総合4位の小川斎太郎選手はオープンロータリー TUNEDクラスで優勝を飾っている。

2組の第1ヒートはデミオG TUNEDクラスの吉見伸吾選手が総合トップ。第2ヒートは1組とは逆に後半に陽が差し、幾分コンディションが回復したため、それぞれ周回を重ねていたが、第1ヒートを上回るまでには到らず、吉見選手の逃げ切りが決定した。

「第1ヒートはドライみたいな感じでしたが、自分がビビってしまい、最後によく出せたタイムなんです。第1ヒートも最後、ドライに

見えるまでに回復したんですが、もう少し早く雨が上がってれば」と、吉見選手は本領発揮ならなかったことを悔やんでいた。総合2位はロードスター TUNEDクラス優勝の梅下降一選手が、総合3位はロードスター NORMALクラス優勝の市川彰選手が獲得した。

JAF地方選手権サーキットトライアルの岡山シリーズは、今年からの開催で今回が2戦目。24日に行われ、こちらは2ヒートともドライコンディションでの戦いとなった。第1ヒートの総合トップはBD3クラスの山根一人選手で、同クラスの田原寛之選手を3秒半も引き離す。少しでも差を詰めたい田原選手であったが、第

2ヒートは山根選手すら1秒タイムを落とすほどで、ほとんどのドライバーが早々にアタックを終了。

「いつも通りの走りができました。第2ヒートにタイムを上げたかったんですが、気温が上がりすぎて。路面状態は良かったんですけどね」と山根選手。総合2位は田原選手が獲得し、第2ヒートで唯一タイムアップを遂げた中嶋芳選手が総合3位につけた。BD2クラスは木村芳次選手の優勝で、総合では4位に。PN2クラスでは三浦俊哉選手が、PN1クラスでは出原裕二選手が、そしてPN3クラスでは岡村智明選手が、それぞれレコードタイムを更新して優勝を飾っている。